



酷暑もものとしめない、受験予定者等による富士駐屯地研修

自衛隊東京地方協力本部新小岩募集案内所（所長 藤野 一陸尉）は8月28日、受験予定者等48名に対し、受験意欲の向上及び自衛隊への理解を深めることを目的として陸上自衛隊富士駐屯地の研修を実施した。

本企画は、SNSを活用した情報発信及び都立高校との調整により企画・実行したものである。

当日は、東富士演習場畑岡地区での10式戦車及び16式機動戦闘車の射撃見学をはじめ、富士駐屯地での96式装輪装甲車の試乗体験並びに20式5.56mm小銃を含む各種装備品見学、体験喫食等貴重な体験ができた。特に10式戦車の射撃においては、参加者は戦車の機動による地鳴りのような轟音に腹の底を揺さぶられ、さらには耳をつんざく爆音とともに空気を震わせる射撃の迫力を直に感じ、歓声が途切れることなく興奮した様子を見せていた。参加者からは、自衛隊の持つ装備品の迫力を体で感じられたことで「戦車の射撃を見て衝撃で体が震えると同時に、自衛隊の活動や装備をもっと知りたいとさらに興味が湧いてきました」「今回の研修により、自衛隊が就職先の選択肢になりました」との感想が聞かれ、研修を通じ受験意欲の向上及び自衛隊への理解を深めることができた。

新小岩募集案内所は、今後も部隊等と連携しながら、防衛省・自衛隊に対する理解と関心を深め、入隊者獲得のための努力を惜しまないとしている。

